

1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 2月 9日

【評価実施概要】

事業所番号	0194600011		
法人名	医療法人社団博愛会		
事業所名	グループホームかたらい		
所在地	〒080-2473 北海道帯広市西23条南2丁目16-36 (電話) 0155-38-7770		
評価機関名	社会福祉法人北海道社会福祉協議会		
所在地	北海道札幌市中央区北2条西7丁目1番地		
訪問調査日	平成20年10月17日	評価確定日	平成21年2月9日

【情報提供票より】 (平成20年9月30日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 <u>平成</u> 18年 6月 1日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	16 人 常勤 16人, 非常勤 0人, 常勤換算 16人

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	2 階建ての	1~2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	54,500 円	その他の経費(月額)	19,500~25,500 円	
敷 金	有 (円)	<u>無</u>		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<u>有</u> 98,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / <u>無</u>	
食材料費	朝食	200 円	昼食	250 円
	夕食	350 円	おやつ	円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要 (9月30日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	1 名	要介護2	6 名		
要介護3	3 名	要介護4	6 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	73 歳	最高	98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	開西病院 大江病院 高山泌尿器科 高木皮膚科 ますち歯科
---------	------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、同法人の病院と隣接しており、各種の医療機関が立ち並ぶ医療ゾーンに位置している。母体法人では、平成20年3月1日に小規模多機能型居宅介護事業所を開設しており、同11月1日に2ヶ所目も開設予定である。事業所では、新しい試みとして、希望する利用者に対して「公文式」を導入し、職員とのコミュニケーションを図る機会として活用する取り組みをしている。当地域に町内会はないが、近隣の町内会に積極的に働きかけるなど交流に努めており、地域密着型の事業所として、利用者が地域で安心して暮らしていくことができる事業所である。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回課題であった地域とのつながりについては、運営推進委員会・行政機関などに積極的に働きかけを行っており、近隣町内会への加入に向けて取り組んでいる。また、災害対策については、近隣に住宅が少ないことから、隣接する病院と協力し避難訓練を行うなど、改善に取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者、管理者、職員は、自己評価を実施する意義を理解しており、全員で取り組み、管理者がまとめている。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いをするほか、消防署員や警察署員の運営推進委員以外の参加も得て、そこでの意見をサービス向上に活かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	意見箱や苦情相談窓口などを用意し、家族等が、意見、不満、苦情を管理者や職員、ならびに外部者へ表せる機会を設けており、意見等を運営推進委員会やミーティングで話し合い、運営に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進委員会等を通じて、隣接する町内会に加入の働きかけを行ったが、加入には至っていない。事業所は地域の一員として、地域活動に参加するとともに、事業所の大きな行事の際は、回覧板等で地域住民に知らせるなど、参加を得られるよう取り組んでいる。

2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本的理念を基に、地域の中で「その人らしいあり方」を目指して、事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は、理念を共有し、理念を道しるべに日ごろから申し送りや会議等で話し合いをして、日常的に確認しながら、ケアの実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	運営推進委員会等を通じて、隣接する町内会に加入の働きかけを行ったが、加入するまでには至っていない。事業所は地域の一員として、地域活動に参加するとともに、事業所の大きな行事の際は、回覧板等で地域住民に知らせるなど、参加を得られるよう取り組んでいる。	○	今後も引き続き近隣の町内会に働きかけ、地域から理解を得て町内会に加入することを期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者をはじめ、管理者、職員は、自己評価及び外部評価の意義を理解しながら取り組んでいる。また、前回の外部評価の結果を踏まえ、具体的な改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者や事業所運営、評価への取り組み等の状況報告や意見交換をしている。また、消防署員や警察署員等の推進委員以外の参加も得て、そこでの意見をサービス向上に活かしている		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業所運営上の相談等を、その都度市と行っている。また、地域包括支援センター職員に事業所の行事に参加してもらったり、認知症サポーター養成講座を市と連携を取りながら実施するなど、連携に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の日々の様子や健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族の面会時や電話等で連絡しているほか、月に1度たよりを送付し、利用者一人ひとりの暮らしぶりや金銭出納状況を報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱や苦情相談窓口などを用意し、家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設けている。また、それらを運営推進委員会やミーティングで話し合い、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者や家族からの、馴染みの関係性を確保して欲しいとの要望に応え、運営者は、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしており、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐため、新旧職員の勤務を重複するなど、継続したケアを提供するよう配慮している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、法人内外の研修を受ける機会を多く確保しており、研修に参加した職員は会議等で報告を行っている。また、法人内や他の事業所との交換実習を計画し、実施している。職員も休日に外部の研修に参加するなど資質向上に努めている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は、管理者や多くの職員が、研修会・勉強会を通じて、同業者と交流するよう取り組んでいる。	○	今後も他の事業所と交流を図ることにより、当事業所のみならず、地域のグループホーム全体の資質の向上につながることを期待する。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族の希望に応じ、事前に事業所の見学等を行い、利用者が安心して、納得した上で利用を開始するよう配慮している。また、利用者の生活歴等の情報を収集するなど、本人や家族等と相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、日々の生活の中で利用者と過ごす時間を大切にしている。また、共に生活を送りながら、互いに支えあう関係づくりに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は、日々の関わりの中から、本人の希望や意向等を把握し、ケアに反映するよう努めている。希望等の表出が困難な場合も、本人の表情やしぐさ等から汲み取るよう工夫している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族の思いを採り入れて、介護計画に反映している。必要に応じて、スタッフ間で情報交換をしたり、同法人の他の事業所職員からアドバイスを受け、介護計画の作成に反映している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画期間に応じて定期的に見直しを行うとともに、利用者の心身の状態変化や、本人、家族の要望を聞き取りながら、現状に合わせた介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	かかりつけ病院への受診等の送迎や、同法人の他事業所への訪問など、利用者・家族の状況に応じて、多機能性を活かした柔軟な支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医との協力体制を整えているとともに、通院時に家族が付き添えない場合は、職員が支援している。緊急時に適切な医療を受けられるよう、法人内の病院と情報を共有している。また、必要な時には、医師の訪問等で、適切な医療が受けられるよう支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合は、家族、医師、職員間の話し合いの機会を作り、具体的な支援方法について検討を行っている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の保護はケアの一環であることを職員は理解しており、利用者一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応を心がけるとともに、記録等の個人情報の取り扱いに注意している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの体調に配慮しながら、利用者の気持ちに沿って、それぞれのペースにあわせた支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の嗜好について職員は把握しており、季節の食材を採り入れながら、利用者の希望を考慮した献立づくりを行っている。利用者は、職員と一緒に盛りつけを行ったり、後片付けやテーブル拭きなども、自分の役割として自然に行っており、食事にも共に採っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人が希望する時間や、タイミングに合わせて入浴しており、状況によって可能な限り、早朝や就寝前の入浴支援も行っている。また、利用者の心身の状況に応じた見守りや介助の支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴やアセスメントの情報を基に、一人ひとりの心身状態などを考慮しながら、家事、買い物、外出など、利用者の得意なことや、力量に合わせた楽しみごとの支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	一人ひとりのその日の希望に沿って、散歩や買い物等に出かけられるよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は、居室や玄関には施錠せず、鍵のない自由な暮らしを大切にしている。夜間は、安全・防犯上の理由から施錠している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署と連携し、火災訓練を年2回実施している。また、災害時の地域協力について運営推進会議で働きかけているとともに、隣接する病院との連携も進めている。	○	今後も引き続き、病院との連携強化と、地域の協力体制づくりが期待される。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事量、水分摂取量を職員は細かく把握しているとともに、1日の摂取量がわかるように記録している。また、利用者にあわせた食事の提供を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間は、音や光に配慮するとともに、季節にあわせた飾り付けや、生活感を採り入れる工夫をし、居心地よく過ごせるよう配慮している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人の使い慣れた馴染みの食器や家具、装飾品などを持ち込み、それぞれの好みに応じた環境の中で、居心地よく過ごせるよう工夫している。		

※  は、重点項目。